

## 青山 悟

1973 年東京生まれ。ロンドン・ゴールドスミスカレッジのテキスタイル学科を 1998 年に卒業、2001 年にシカゴ美術館附属美術大学で美術学修士号を取得し、現在は東京を拠点に活動。工業用ミシンを用い作品を制作している。

### 個展、二人展

- 2021 「Everyday Art Market @GINZA TSUTAYA BOOKS」 銀座 蔦屋書店、東京  
「Everyday Art Market: Pop-up Store」 ARTS ISOZAKI、茨城
- 2019 「The Lonely Labourer」 ミヅマアートギャラリー、東京  
「Ota Art Archives #1 青山悟」 KOCA(コーカ)、東京
- 2017 「News From Nowhere」 ミヅマアートギャラリー、東京  
「The Age of Disappearance , Satoru Aoyama×Ken Ikeda」 Mizuma Gallery, シンガポール
- 2016 「Division of Labour」 White Rainbow, ロンドン、U.K.
- 2015 「名もなき刺繡家たちに捧ぐ」 ミヅマアートギャラリー、東京
- 2014 「About Painting」 アートフェア東京、東京国際フォーラム、東京
- 2012 「The Man-Machine (Reprise) Featuring 平石博一」 ミヅマアートギャラリー、東京
- 2011 「芸術家は人生において 6 本の薔薇を真剣につくらねばならない」 ミヅマアートギャラリー、東京
- 2010 「複合回路—接触領域」 gallery α M、東京
- 2009 「Glitter Pieces #1-22 : 連鎖／表裏」 ミヅマアートギャラリー、東京  
「公開制作 48 青山悟 Labour's Lab」 府中市美術館、東京
- 2007 「Ancient Pixels」 シカゴ文化センター、ミシガンアヴェニューギャラリー、シカゴ、U.S.A.  
「Crowding in the Studio」 ミヅマアートギャラリー、東京  
「Good Aliens」 One in the Other、ロンドン、U.K.
- 2005 「空気 コーヒー 東京の朝」 ミヅマアートギャラリー、東京
- 2004 「クリテリウム 60 青山悟」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城  
「夕景」 ミヅマアートギャラリー、東京
- 2002 「Satoru Aoyama」 Finesilver Gallery, San Antonio, U.S.A.  
「In Stiched」 Zolla/Lieberman Gallery, Chicago, U.S.A.

### グループ展

- 2022 「N/World 展」 MtK Contemporary Art、京都
- 2021 「Real by ArtSticker DAIKANYAMA ART WEEK」 ヒルサイドフォーラム、東京  
「Dress Code: Are You Playing Fashion?」 ドイツ連邦共和国美術展示館(Bundeskunsthalle)

- 「花、あたらし / 12Flowers」 art space Kimura ASK?、東京  
「電線絵画展ー小林清親から山口晃までー」 練馬区立美術館、東京
- 2020 「Within Sight」 Mizuma & Kips、ニューヨーク, U.S.A.  
「Uninterrupted Wander-不断の彷徨」 ミヅマアートギャラリー、東京  
「現代美術の最前線—タグチ・アートコレクションよりー」 下関市立美術館、山口  
「練馬区立美術館開館 35 周年記念 : Re construction 再構築」 練馬区立美術館、東京  
「DOMANI・明日展 plus online 2020 :〈前夜〉を生きる」(オンライン展示)  
「ドレス・コード?—着る人たちのゲーム」 東京オペラシティアートギャラリー
- 2019 「ドレス・コード?—着る人たちのゲーム」 京都国立近代美術館、熊本市現代美術館  
「数寄景／NEW VIEW —日本を継ぐ、現代アートのいま」 阪急うめだギャラリー、大阪、  
三菱地所アルティアム、福岡三越・三越ギャラリー、日本橋三越本店、東京 (-2020)  
「高橋コレクション展 アートのふるさと」 鶴岡アートフォーラム、山形  
「Unfolding: Fabric of Our Life」 Centre for Heritage, Arts & Textile(CHAT), 香港
- 2018 「21世紀の美術 タグチ・アートコレクション展 アンディ・ウォーホルから奈良美智まで」  
平塚市美術館、神奈川  
「高橋コレクション 顔と抽象—清春白樺美術館コレクションとともに」 清春芸術村、山梨
- 2017 「アートのなぞなぞ—高橋コレクション展 共振するか反発するか？」 静岡県立美術館  
「ミュージアム・オブ・トゥギャザー」 スパイラルガーデン、東京  
「海と山のアート回廊」 尾道市立美術館ほか、広島  
「驚異の超絶技巧！—明治工芸から現代アートへー」 三井記念美術館、東京、岐阜県現代陶芸  
美術館、山口県立美術館、富山水墨美術館、あべのハルカス美術館、大阪を巡回 (- 2019)  
「ヨコハマトリエンナーレ 2017」 横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫 1 号館ほか、神奈川  
「ESCAPE from the SEA」 国立美術館他、クアラルンプール、マレーシア
- 2016 「現代美術が終わっても」 艸居、京都  
「ぐるっと展望！現代アート入門—高橋コレクション」 金津創作の森、福井  
「2016 年度第 1 期常設展 記憶と気配—2015 年度新収蔵作品から」 高松市美術館、香川
- 2015 「もう一つの選択 Alternative Choice」 横浜市民ギャラリーあざみ野、神奈川  
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2015」 六甲山、兵庫  
「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」 東京オペラシティアートギャラリー  
「タグチヒロシ・アートコレクションパラダイムシフト：てくてく現代美術世界一周」 岐阜県  
美術館
- 2014 「アラフドアートアニュアル 2014」 土湯温泉、福島  
「Find Asia」 ヨコハマ創造都市センター、神奈川
- 2013 「アートがあれば II」 東京オペラシティアートギャラリー  
「Flowers」 十和田市現代美術館、青森

- 2012 「メグロアドレー都会に生きる作家」 目黒区美術館、東京  
「Photo Reference: Photographic Image in Contemporary Japanese Art Practices」 ベルグラード文化センター、セルビア  
「ジバング展—沸騰する日本の現代アート」 新潟県立万代島美術館／高崎市美術館、群馬／八戸市美術館、青森／秋田県立近代美術館を巡回（-2013）  
「Storyteller—識る単位」 国際芸術センター青森
- 2011 「VOCA 展 2011」 上野の森美術館、東京  
「堂島リバービエンナーレ 2011 : ECOSOPHIA アートと建築」 堂島リバーフォーラム、大阪  
「CAFE in Mito 2011—かかわりの色いろ」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
- 2010 「六本木クロッシング 2010 展：アートは可能か？」 森美術館、東京
- 2009 「TWIST AND SHOUT: Contemporary Art from Japan」 バンコク芸術文化センター、タイ
- 2008 「ネオテニー・ジャパン 高橋コレクション展」 霧島アートの森、鹿児島／札幌芸術の森美術館 北海道／上野の森美術館、東京／新潟県立近美術館／秋田県立近代美術館、米子市美術館、鳥取／愛媛県美術館を巡回（-2009）  
「The ECHO」 ZAIM、東京
- 2006 「ニューアート展 2006 [布と糸のかたち]」 横浜市民ギャラリー、神奈川  
「Alllooksame? / Tuttguale? – Art from China, Japan and Korea」 Fondazione Sandretto Re Rebaudengo、トリノ、イタリア  
「The Souvenir Mine: スーベニア・マイン」 ミヅマアートギャラリー、A.R.T (Artist Residency Tokyo)、東京
- 2005 「Scape Codes : Neo-Topography」 PKM ギャラリー、ソウル、韓国
- 2004 「Officina Asia」 ボローニャ近代美術館、イタリア  
「Boys Who Sew」 クラフトカウンシルギャラリー、ロンドン、U.K.
- 2003 「Don't Look Down」 Nunnery, ロンドン、U.K.
- 2002 「Small Collection」 Govett-Brewster Gallery, ニュープリマス, ニュージーランド
- 2001 「MFA Thesis Exhibition」, The Art Institute of Chicago Gallery 2, シカゴ、U.S.A.
- 2000 「Kindergarten」 墨田幼稚園、東京

#### パブリックコレクション

森美術館、東京  
高松市美術館、香川  
練馬区立美術館、東京  
京都国立近代美術館